



「継体天皇の時代とオトクニ」第1回講座を開催しました

<テーマ> 日本史の中のオトクニ

- 日程 平成30年6月16日（土）
午後2時～4時
- 場所 向日市文化資料館 研修室
- 趣旨 第1回目は「日本書記」や「古事記」など、歴史書の記述から継体天皇や当時のオトクニについて見ました。



講座のキャンノート



「オトクニ」とは、現在の向日市・長岡京市・大山崎町・京都市の一部にまたがる地域を指す地名であり、現在は「乙訓」と漢字表記されますが、713年、全国の郡及び郷の名称は印象の深い2字の漢字を用いるよとの命令（好字令）が出るまでは、「弟国」と表記されていました。

「弟国宮」の名称は「日本書記」と「古事記」に記述があり、そこには「弟国宮」は518年に継体天皇（第26代天皇）が筒城宮から遷した都で、526年に磐余玉穗宮に遷都されるまでの8年間続いたものであると記されています。

（「日本書記」は720年に成立、「古事記」は712年に成立した代表的な歴史書物）

また、「日本書記」には、「弟国」という地名は垂仁天皇（第11代天皇）の5人目の妃（竹野姫）が、醜いという理由で里に返されることとなった際、それを恥じた竹野姫が葛野で自ら輿から落ちて死んだことから、「おちくに」と呼ばれ、それが訛って「弟国」と呼ばれるようになったと記されています。

ただ、その他のことについての「弟国宮」の記述は少なく、まだまだ謎の多い都であると言えます。

★ 今年度の考古学講座は、「弟国宮遷都1500周年」を記念して、最新の考古学・歴史地理学的な調査研究成果を基に、「継体天皇の時代や社会について」をテーマに実施します。

継体天皇の時代とオトクニ

弟国宮成立千五百年

丹波

老ノ坂

葛野大堰

向日社

乙訓社

乙訓寺

桂川

天王山

下植野南

宇治川

淀川

男山

木津川

平成30年度
市民考古学講座
全5回

- ◎第1回 「日本史の中のオトクニ」 6月16日(土)
- ◎第2回 「遺跡からみたオトクニ」 7月21日(土)
- ◎第3回 「オトクニの自然と景観変遷史」 9月15日(土)
- ◎第4回 (見学会) 弟国宮をさがして 10月20日(土)
- ◎第5回 「弟国宮とは何か」 11月10日(土)



会場 向日市文化資料館 開催時間14時～16時(開場13時)

阪急東向日駅から徒歩約8分 JR向日町駅から徒歩15分
見学会の詳細は、裏面を参照下さい

**申し込み
問い合わせ** 平成30年6月1日より、受付開始 FAXか郵送で申し込み下さい
座学：80名 見学会：40名 先着順 参加無料

公益財団法人向日市埋蔵文化財センター 〒617-0004 京都府向日市鶏冠井町上古23
http://www.mukoumaibun.or.jp Tel 075-931-3841 Fax 075-931-4004

主催 向日市教育委員会 公益財団法人向日市埋蔵文化財センター



